

平成24年度 人間ドックの自己負担金が変わります！

◇自己負担金 いくらになるの？

性別や年齢によって受けられるがん検診の項目が異なるため、個人ごとに自己負担の合計金額が変わってきます。（下の表を参考にしてください）

検 査 項 目		自己負担額	市負担	検 査 項 目		自己負担額	市負担
※1 特定健診（基本）		なし	あり	が ん 検 診	肺がん検診（胸部X線）	600円	あり
心電図		なし	あり		大腸がん検診（便潜血2日）	600円	あり
眼底カメラ		なし	あり		胃がん検診（バリウム検査）	4,500円	あり
視力		なし	あり		腹部超音波検査	2,200円	あり
尿 検 査	潜血	なし	あり		婦人科超音波（女性）	600円	あり
	ウロビリノーゲン	なし	あり		子宮頸がん検査（女性）	600円	あり
	PH	なし	あり		乳房触診（女性）	300円	あり
B型肝炎検査（40歳）		なし	あり		※2マンモグラフィ（女性）	600円	あり
C型肝炎検査（40歳）		なし	あり		※2乳房超音波（女性）		あり
血液検査一式		なし	あり		前立腺がん（50歳以上男性）	600円	あり

※1 特定健診は（問診・身体測定・尿糖・尿蛋白・血圧測定等）の検査です。

※2 乳がん検診は、どちらか一方の受診です。

全て受けた場合 **男性／8,500円 女性／10,000円** となります。

◇人間ドックの自己負担金 なぜ、かわるの？

これまで、人間ドック（40歳以上）の自己負担金は、男女ともに**一律10,000円**でした。これは、人間ドックにかかる全ての費用（約23,000円～30,000円）のうち10,000円を自己負担していただき、残りを市が負担するという考え方でした。昨今、他の施策で対象年齢の方に「無料クーポン券」を発行すること等にもとない、自己負担していただく金額の内訳を明確にする必要が出てきました。そこで今回、『**受診した項目ごとに自己負担額を計算する**』方法にかかわることになりました。これによって、個人ごとに自己負担の金額が変わってくるようになります。

◇健診機関（国東市民病院・厚生連）や健診項目はこれまで通りです。

◇申し込み方法もこれまで通りです。

東国東地域健康づくり推進大会

●と き 2月26日（日） 午前9時～正午
●と ころ アストくにさき アグリホール

今年のテーマは
「地域で取り組む健康づくり ～震災に学ぶ～」

東日本大震災に派遣された方の話や備蓄食品の展示・健康機器の無料体験コーナー・各種無料相談などを行います。ぜひお越しください。